

令和2年度 学校評価報告書

丹波篠山市立篠山東中学校

1 学校教育目標等

「つなぐ力を持ち、自ら考え判断し行動できる生徒の育成」

2 今年度の重点目標

- 1 学ぶ意欲 確かな学力（*主体的な学び*家庭学習の定着*個に応じたきめ細やかな支援）
- 2 やさしい心（*人権教育・道徳教育の充実*安心して過ごせる学校づくり）
- 3 たくましい身体（*健康・安全教育*登校する喜び・楽しさ）
- 4 地域との連携（*愛校心・郷土愛 *地域とともにある学校づくり*小中連携）
- 5 元気な教職員（*心身ともに健康な教職員*計画的な年休・割り振りの実施）

3 学校自己評価結果

（達成状況・・A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する）

| 分野 | 評価項目 | 達成状況 | 取組状況・改善方策 |
|--------|---|------|---|
| 学習指導 | 活動（作業）、協同（ペア学習・グループ学習）、表現（発表）のある授業を意識して取り組んでいるか。 | A | ・5年間協同学習の研究に取り組み、生徒にもペア・グループ学習が本校の授業スタンダードとして定着している。対話を通して考えを深め広げることができている。 |
| | 「めあて」を分かりやすく提示し、最後に「ふり返り」をして理解度をチェックしているか。 | B | ・自分から学ぼうとする主体性を育てながら家庭学習の充実に努めているが、時間、内容が目標に至っていない。 |
| | 家庭学習の定着（時間・内容）に向けて指導しているか。 | C | ・基礎基本や学習習慣の定着を図るため木曜日の放課後等を利用し、タブレットドリルを活用するなど、できる限り個に応じたきめ細やかな指導を心がけた。 |
| | 休み時間、木曜日の放課後等を使って、個別の指導を行っているか。 | B | |
| 道徳教育 | 道徳の時間、生徒の考えや意見を大切にしたい心にせまる授業を心がけているか。 | A | ・「対話を通して生き方について考えを深める道徳科の授業」をテーマに、人権教育を生かした授業（対話）づくりに取り組んだ。その中で考えを深めるための「気付き」を大切にしたい。 |
| | 授業の中に「ふるさと丹波篠山」に関連のある題材を取り入れたか。 | B | ・市長の学校訪問で地方自治について学び、ふるさと教育に繋げた。長寿福祉課等、外部から講師を招聘し高齢者福祉について学び身近な高齢者との関わりを考えた。 |
| 生徒指導 | 欠席生徒、不登校傾向生徒に対して、生徒指導委員会、生徒支援委員会、ケース会議、学年会などで組織的に対応しているか。 | A | ・平常時の生徒指導の充実に努めた。 |
| | 毎月の安全点検、交通立番、生徒への安全の啓発を確実にし、ケガや事故防止に努めているか。 | A | ・別室指導をはじめとする要支援生徒に対して学校として組織的に体制を整えた結果、欠席日数が激減した。 |
| | 情報機器の取り扱いについて指導をしているか。 | B | ・減災ための環境整備（ハードウェア、無線機の設置）県警ホットラインについて動作確認をした。 |
| 家庭地域連携 | 学校日より、学級日より、保健日より、ホームページなどを通して、積極的な広報に努めているか。 | B | ・情報機器の取り扱いについては、生徒会を中心に情報機器の取り扱いについて家庭のルールの見直しをしているが、1年生でネット上のトラブルがあった。今後、学校と家庭が一体となり指導を継続する。 |
| | コミュニティ・スクール事業によって、地域の方がより多く教育活動に参画されているか。 | C | ・コロナ禍のため保護者や地域住民による授業や行事の参観が十分でなかった。各種たより、HP更新等により広報活動に努めた。今後もHP更新は継続しながら啓発の方法も考えたい。 |
| | 小中交流会、小中研修会、出前授業、連絡会により、小中の情報交換が進んでいるか。 | B | ・コロナ禍のため学校運営協議会主催の防災行事を中止せざるを得なかった。来年度実施する予定である。 |
| 業務改善 | ノー会議デー、ノー部活デー、定時退庁が進んでいる。 | B | ・授業時間確保のため交流会、連絡会、入学説明会等は規模を縮小して実施した。今後も目的やねらいを見直しながら推進したい。 |
| | | | ・定時退庁の意識はあるが業務量が多く定時退庁できない。 |
| | | | ・コロナ禍で行事の目的等を見直して行事の精選をしたので業務改善は進んだ。 |

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・重点目標は妥当である。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- *学校ではなくフリースクール、ホームスクールに価値を認める等、保護者の教育に対する価値観の多様化がみられるが、保護者に学校の集団で学習する楽しさを是非わかってもらいたい。また、学校はFS等の実態把握が必要だと思う。
- *塾に通っている生徒について把握すべきだと思う。また、塾で取り組んでいる内容も把握する必要があるように思う。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

| 分野 | 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価 |
|------|---|
| 学習指導 | *篠山東中学校の授業のスタイルとして教育活動全般で協同学習に取り組んでいるが、生徒たちがお互いの意見を交える姿がとてもよかった。是非続けてほしい。 |
| 生徒指導 | *不登校生徒、欠席日数の激減はすごいと思う。今後も学校の組織としての対応を継続し、「やっと登校できた生徒」を支えてやってほしい。 |